

6月を迎えての知事コメント 0601

本日から6月を迎えました。新型コロナウイルス感染症の新規感染患者の発生は5月中はみられず、1ヶ月間ゼロを続けています。

これはひとえに県民の皆様、事業者の皆様、及び保健衛生業務に従事された皆様、そして医療現場で働く病院関係者の皆様のご尽力による成果であり、誠にありがとうございます。

特に、4月の感染患者が急増した時期には、感染症指定医療機関である琉球大学病院及び県立病院、さらに協力医療機関の皆様のお力により、その難局を乗り越えることが出来たと考えております。あらためて敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

このような医療関係者等のご尽力によりまして、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた感染症指定医療機関及び協力医療機関では、コロナ対策から、現在では通常の診療が十分行える高度な医療体制に戻っています。

感染患者が急増した時期には、病院への通院を懸念されていた方もいらっしゃるかと思いますが、各医療機関では、この間もウイルス対策を万全に医療を守ってこられました。県民の皆様にはぜひとも受診控えなどをせず、安心して受診していただきたいと思います。県としましては、感染症患者受入病院の空床補償などに取り組み、医療機関を万全の体制で支えてまいる所存です。

日本全体で見ると北九州市のように感染流行の第2波が到来している地域や、断続的に感染者が発生している地域もあり、引き続き警戒する必要があります。東京など6都道県では感染が今も続いているため、6月18日までは渡航の自粛を呼びかけているところであります。引き続き、気を緩めることなく感染予防へ取り組んでいただくようお願いいたします。

県内の医療提供体制は確保できているとはいえ、県民の皆様一人一人、事業者一社一社による感染予防対策が重要であることは変わりありません。

県民の皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症に対応した「新しい生活様式」を生活に定着させ、外出する際にはマスクを着用し、こまめな手洗い、うがい等を徹底してください。密閉、密集、密接のある三密の環境は、避けるようにしてください。

事業者の皆様におかれましては、各店舗や施設において、手指消毒液の設置や換気の徹底、人と人との距離をとれるような座席配置など、独自の「感染症拡大予防ガイドライン」に沿った対応を引き続きお願いします。

また、テレワークやインターネットを使った会議、時差出勤といった取り組みは、感染流行時に業務を継続するための有効な方法ですので、ぜひ継続して頂けたらと思います。

緊急事態宣言が継続し、各種活動自粛が続いていた5月は、県民にとって本当に大変な時期だったと思います。

新型コロナウイルス感染症の第2波は必ず来るともいわれていますが、今回の経験を踏まえ、次の波が来たときでも、その影響をなるべく小さくし、新型コロナウイルスに負けない沖縄をつくっていきましょう。

引き続き、県民の皆様、事業者の皆様の感染予防への取り組みをよろしくお願いします。

令和2年6月1日

沖縄県知事 玉城 デニー